

夢乗せて、有人宇宙船が飛んだ

侯若虹 文

大宇宙を飛ぶ——それは中国人にとって、長い間の夢だった『西遊記』の主人公、孫悟空は、ひと飛び十万八千里を駆け、敦煌石窟の壁に描かれた飛天たちは、衣を翻しながら大空に浮かんだいま、それが、現実となった

「神舟5号」は、中国初の宇宙飛行士を乗せて宇宙に飛び出し地球を十四周回って、無事、地上に帰ってきた

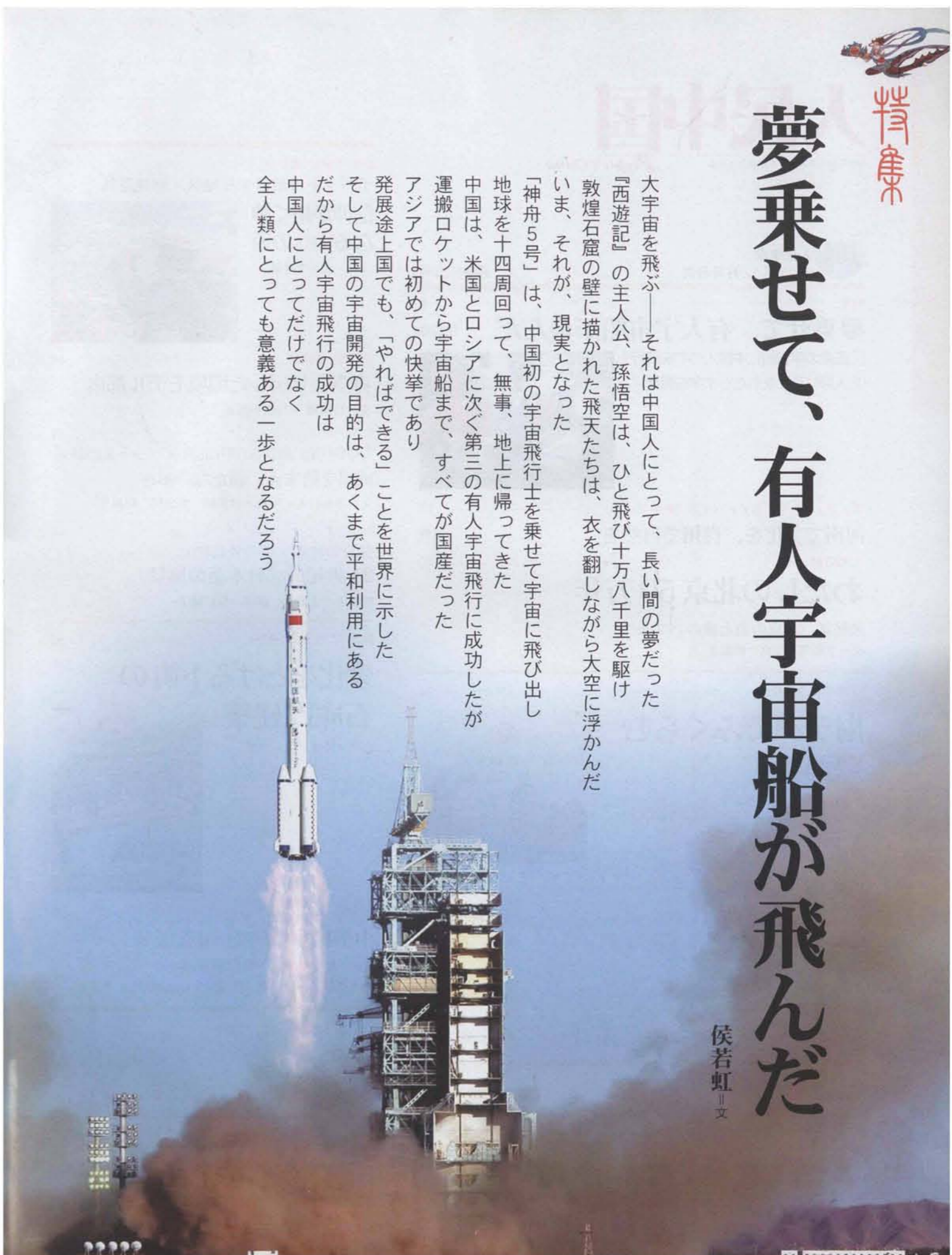
中国は、米国とロシアに次ぐ第三の有人宇宙飛行に成功したが運搬ロケットから宇宙船まで、すべてが国産だった

アジアでは初めての快挙であり、発展途上国でも、「やればできる」ことを世界に示した

そして中国の宇宙開発の目的は、あくまで平和利用にある

だから有人宇宙飛行の成功は中国人にとってだけでなく

全人類にとっても意義ある一歩となるだろう



① 国産の宇宙船に 中国人の宇宙飛行士

二〇〇三年十月十五日午前九時、中国が独自で研究・製作した「長征2号F型」ロケットは、巨大な白煙を残して大空に舞い上がった。そのロケットには、中

中国最初の宇宙飛行士となった楊利偉さん



国初の有人宇宙船「神舟5号」が搭載されていた。中国西北部の澄み切った紺碧の空を突き抜けて、ロケットは宇宙空間に向けて飛んでいった。

宇宙船には、これも中国初めての宇宙飛行士が乗っていて、平均九十分で地球を一周した。宇宙船は、二十一時間二十三分後の十月十六日午前六時二十三分、内蒙古自治区の中部にある草原に、無事、着陸した。

実際に着陸した地点と想定されていた着陸地点との誤差は、わずか四・八キロだった。着陸時刻は予定と一分一秒違わなかった。宇宙船のカプセルや器材の損傷はなく、宇宙飛行士も無事に帰還した。

飛行士は空軍パイロット

「楊利偉」——中国人はこの名前を長く忘れることはないだろう。彼こそ「神舟5号」に乗って宇宙を飛んだ最初の中国人だからである。

楊利偉さんは空軍のパイロット出身である。一九八七年、中国人民解放军空軍の第八飛行学院

を卒業し、空軍の航空兵、パイロット、中隊長を歴任した。これまでに戦闘機、地上戦闘攻撃機などの機種を操縦し、安全飛行時間は千三百五十時間に達する一級パイロットである。

一九九六年からは宇宙飛行士に選ばれた。二年に及ぶ厳しい選抜のすえ、彼は千五百人の現役のパイロットの中で頭角をあらわし、十三人の仲間とともに中国で初めての宇宙飛行士になった。その後五年の訓練を経て、彼は基礎理論や宇宙環境への適応性、専門技術など八つの分野の数十科目の訓練を終え、優秀な成績で宇宙飛行士の専門技術総合試験に合格した。

楊さんは一九六五年六月二十一日生まれの三十八歳。遼寧省葫蘆島市綏中県の教師の家庭に生まれた。彼の父母はともに建国初期に大学を卒業し、父親は教師をした後、行政部門の仕事に従事した。母親は県の中学校で国語の教師をしていた。楊さんには姉と弟がいて、一家五人は仲睦まじく、平穏な毎日をおくっていた。

父母の話によると、楊さんは小さいころ、非常に腕白だったが、頭の回転は速く、反応が機敏で、頭をよく使い、力ギ大将だった。小学校を卒業し、優秀な成績で県の重点中学の優秀クラスに